

**” アビスパ、J1復帰ならず。and 豪州合宿募集開始。” 2004.12.13(mon)**

残念でした。しかし、入れ替え戦第2戦0対2、計0対4では気持も吹っ切れました。また頑張ろう！アビスパ福岡。

さて、いよいよ本日午前9時から、来年4月1日～5日の「2005 豪州・ペンリス市 第3回春ゆめの大自然交流合宿」の参加申し込みが開始されます。

ご存じ通り、本企画は単なる海外旅行ではありません。1月10日の実施説明会から始めて2月11日・3月21日の参加者交流会、3月に入って毎週土曜日英会話研修・ダンス研修（希望者）を通して異年齢の仲間達との交流を図り、併せて自主性、協調性を育てようとするものです。

今回はペンリス市国際友好協会の提案により、オーストラリアの原住民族・アボリジニーの伝統文化を体験するプログラムも盛り込まれております。是非参加をご検討下さい

但し、第1回は募集開始1週間で、今年の第2回は小学生は募集開始3日目、中高生は5日目で募集定員に達しておりますので、お早めにお問い合わせ致します。

**” J2の熱き戦い” 2004.11.24(wed)**

昨日は朝9時から中学3年生の学調対策勉強会。しかし、前夜に藤枝教室では授業があったため、9時になっても藤枝教室の生徒は一人も来ない。静岡教室の生徒が「来てやったよ！」と言わんばかりに元気よく来る。まったく、無料の勉強会だよ。しかも、結局夜9時半過ぎまで指導し、勤労感謝はなんのその。ま、でも、生徒はよく頑張りました。学調まであと8日。みんな頑張ろう！

そんな中、携帯電話にいつも駒場野さん（パソコン通信・ニフティサーブのハンドル名）からJ2の試合状況が送られてくる。最終節前の第43節、対鳥栖戦。上位2チーム・川崎、大宮がJ1昇格を決め、残る1チーム入れ替え戦出場枠争い。前節山形と同じ勝ち点で並んでの戦いは、前半福岡が1点先攻するものの、追いつかれ1対1。片や、山形対水戸戦は0対0。後半、福岡が再び1点リードし、そのまま試合終了、勝ち点73。山形の方は後半終了前1対2。このままだと最終節直接対決で福岡が負けても、得失点差5で福岡が俄然有利と思いきや、そうは問屋が卸さない。後半ロスタイムに山形が追いつき、2対2のドロー。27日の最終節にもつれ込まれました。母校・藤枝東は、21日正月の選手権大会静岡大会を2年連続制覇。がんばれ！福岡・・・まだまだサッカー熱も冷めてません。

**” 確かな学力論議” 2004.11.18(thu)**

16日の午後県教委社会教育課主催の学習塾関係者懇談会に出席してきました。今年の3月に「確かな学力」育成会議が発表した提言についての会議でした。席上発言させて頂きましたが、結局は<職を賭けて取り組む教授力>に尽きると思います。我々の業界は指導力のない塾、指導力のない講師は自然淘汰される世界です。子供たちの知的好奇心呼び起こす問題提起に、子供たちの創造力、探求心、豊かな発想を生かした授業展開、そして子供たちの表

現力を育てるまとめ、常に子供たちを惹きつけ、目から鱗が落ちる授業が如何にできるかが確かな学力育成の成否に繋がります。はっきり言わせてもらえば、指導力がなくても簡単に解雇できない、地位安定の甘い世界では、改革は不可能です。我々は評価され、選択される立場にあり、それが即、塾存続に関わる厳しい世界にいます。その基準は生徒に本物の学力を習得されるか否かです。受験テクニックだけの習得では長く続かず、地域の支持も得られません。開塾 22 年。私も常に指導結果を真摯に受け止め、それまでの指導を見直し続けてきた結果と思っています。

### ” 砦作りようやく再開 ” 2004.11.10(thu)

タイトル通り、今週末 13 日から「俺たちの砦作り」が再開されます。今のところ参加者はたった 3 人。2 人になる可能性もあり。まあ、それでも始めるつもりです。まずは 3 年前に作った砦を壊し、新たな砦作りの準備です。その近くに 2 年前作ったたて穴式住居も風雨にさらされ、廃屋状態。みんなできれいに整備し、どんな砦にするか、そんな話し合いから始めます。いろんな構想が思い浮かび、一人心を踊らせています。いつまでも子どもなんですねえ、私は。

### ” 夢は広がります ” 2004.11.8(mon)

おはようございます。ようやく落ち着きつつあります。TO THE FUTURE 3rd Stage も終わり、紅葉！インディアンテント泊も無事終了。

ここでちょっと落ち着いて塾の今後の計画と NPO 今後の活動を考えようと思っています。受験生を抱える塾と予備校でいよいよ受験勉強も追い上げです。今週から中学 3 年生は高校入試の基本資料となる大事な後期中間テスト、ないしは 2 学期期末試験が始まり、昨夜は静岡教室で勉強会。なかなか勉強に燃えない中学 3 年生に多少いらつきを感じながら、自分の気持ちを押しえながら指導しておりました。

またこのところ毎月高校中退の相談が相次いでおり、私共の NPO と提携する通信制高校に転校し、当予備校で基礎勉強をしながら通信制高校の勉強をし、大学又は専門学校進学への準備をする生徒達が入学してきております。そうした生徒達を指導してみて、問題を解くテクニックより基礎・原理の理解・勉強の必要性を再確認しているところです。

話は変わって昨日私の息子が通う静岡文化芸術大学の文化祭に行き、この春ペンリス合宿と一緒に行ってもらったダニエラさんと会い、色々な話をする中でちょっと前から考え始めております世界平和を真摯に考える大学生・大人達の合宿と、NPO で対応している子供達の合宿を併せた合宿の話になり、再来年その合宿が実現できそうな感触を得、また夢が広がり始めました。塾の組織化もさることながら、NPO の組織の充実化と併せて、その実現に向け、様々な準備を始めます。

” 阿南町北条地区夏祭り・大三国” 2004.9.16(thu)

11,12 日一泊二日で夏合宿の御礼に阿南町に。11 日が北条地区の夏祭り。「大三国」の写真メールです（今の携帯とは写りが・・・2020.8）。皆様にも・・・



” ようやく暑い夏が終わりました。” 2004.9.7(tue)

ご無沙汰しております。ようやく過酷な夏が終わりました。この日誌が休みがちな時は元気でやっているとご理解下さいませ。元気には元気ですが……。奈良の大学に行っております娘も夏休みで帰ってきているにもかかわらず、この夏は家族でどこにも行けず、ただただ忙しい毎日でした。う～ん、それにしてももうチョット売り上げが上がらないかなあつて言うのが本音であります。6月決算でこの暑い中、ず～っと帳簿ばかりを眺め続けておりました。教え子の税理士にもお恥ずかしい数字ばかり。NPOの総事業費の方は、設立以来皆様のご協力でうなぎのぼりに伸び、両方を合算すれば、開塾以来一時期横ばいはあっても、お蔭様で順調にきております。勿論、NPOの方は事業費が伸びても、それが直接利益増に繋がるわけではありません。塾の方も一生懸命やっていますが、経営者としては気持ちだけでは駄目であります。やはり実績を出さなくてはなりません。頑張ろう！

“いよいよ信州・伊那谷 夏さわやか合宿” 2004.7.25(sun)

いよいよあと6日で「信州・伊那谷 夏さわやか合宿」に出発です。今年の1月の下見からこれまで計6回も会場である阿南町に訪れるという、これまでの夏合宿にはない気の入れよう。ホント楽しみです。阿南町の大下条小学校6年生の皆さん、そして、飯田のダンススクールの中島先生、この度は大変お世話になりますが、宜しくお願い致しま～す！m（  
\_\_）m

” 49に思う” 2004.7.7(sun)

タイトルの話、ホントは6月21日に書くつもりでした。すっかり定番の挨拶になりましたが、こんばんは、ご無沙汰しております。私もいつの間にか40代最後の年になってしまいました。始終苦（しじゅうく）勞する年とはよく言ったもの。世は少子化の大波に揺られ、静岡では私立中学の定員割れ、高校中退者の激増と在学中の大検受験の是認＝高等教育の空洞化、さらには大学淘汰時代の到来に、国立大学の独立行政法人化。正に我々学習塾業界も大変革を求められる時が到来しました。大手学習塾はここぞとばかりに資金力にものを

言わせ、果敢に宣伝攻撃とダンピング＝超安価講習作戦に力を注ぐ。同じ土俵で相撲を取っては不利な我々中小学習塾がここを乗り切るポイントは、常に最新の入試情報を取り入れながら、生徒ひとり一人の状況をしっかり把握した上で、プロとして長年の経験を生かして個々に適切に対応しながら指導することだと考えています。目指すは本物の学力です。これを機に改めて我々の日々の指導を見直そうと思ってます。・・・しかしながら、憂うのは最近の子ども達の精神力の弱さ、耐力の弱さ。これについては次回に。

#### ” 学校に行く習慣と行かない習慣 ” 2004. 5. 16 (sun)

お久しぶりです。今日は楽しみにしておりましたカヌー教室が降雨のため中止。久しぶりのんびりしようかと思いきや、高校生が中間試験直前。昨日から質問が結構たくさん来ておりました、朝からスケジュール調整しながら、一方でプリント作り。こんなもんなんですね。なかなかのんびりさせてくれません。

さてタイトルの件。不登校の子ども達と話をしていると、最後に突き当たるのがこのテーマ。不登校が長くなると、すなわちそれが習慣化すると、その習慣をやめる＝登校することがますます困難になる。当然といえばごく当然の話。しかし、不登校解消が目的ならば、この習慣を絶たないと勿論不登校は解消できない。共に習慣化すると（いや、惰性化すると行ったほうがいいのかもしい）、理由＝目的がなくなる。だから、習慣の切り替えが困難になる。自己実現の時代にあって、自己実現＝目的を見失っているからこそ、こうした現象が起こるんだろうと思う。フォーラムにしる、スクールにしる、どちらも我々が行っている活動は、失いかけている目的をしっかりと掴ませることを支援しているに過ぎない。

#### ” 豪州合宿のマスタービデオ完成！ ” 2004. 4. 21 (wed)

計 10 時間のビデオから 2 時間のビデオに編集。どれも抜かしがたい場面ばかりで、大変でした。ようやく完成しました。5 月 9 日をお楽しみに。

#### “ またひとつ夢が実現しました ” 2004. 4. 10 (sat)

行ってきましたオーストラリア・ペンリス市。今年も感動の合宿となりました。ご協力頂きましたペンリス・藤枝両市の皆様、本当にありがとうございました。この感動を皆様と共有させて頂きたく、これから少しずつこの日誌に書いていこうと思います。宜しく願い致します。と、早速本日から書こうと思いましたが、この後面談が入っておりまして、またボチボチ書いていきます。お付き合い下さいませ。

#### ” 夢が広がる ” 2004. 3. 6 (sat)

いよいよ出発までに 26 日を切った「豪州合宿」。今回も、願っていました Buddy との交流三昧。帰ってくれば、「2004 里の春手打そば道場」、時は旬。5 月、「びく石里山公園大茶会」。おっと、これは早くスタッフ会議に諮らなければ。そして、長野で「TO THE FUTURE」を。

夏合宿。そして、紅葉の秋・インディアンテントで秋を感じよう合宿・・・・・・夢は広がります。

” 某ラーメン屋さんでの出来事 ” 2004. 2. 24 (tue)

豪州合宿もいよいよ開催まで 40 日を割り、リーダー・スタッフミーティングも本格化、一昨日は第 5 回スタッフミーティング。先日午前 11 時過ぎ、そのミーティングに出れないリーダー達の打ち合わせを終え車に戻ったら、なぜか無性にラーメンが食べたくなり、そのまま有名な\*\*ラーメンに。不思議ですね、途中知人に電話をすれば、知人も\*\*ラーメンに向かうところとのこと。着けば、毎度のように入り口から順番待ちの行列。う〜ん待つしかない、最後尾に並ぶこと 15 分。少しずつ入り口に近づくも、私の後ろにも列が繋がり最後尾は道路に達する。空を仰いだり、携帯を眺めたり。知人からちょっと用事ができ遅れちゃうとのこと。それから 10 分程してようやくテーブルに着け注文すると、後ろの席になんとあの、その昔”日本一速い男”の異名を取った元レーサー・星野一義氏が入ってきました。びっくりしました。綺麗な奥様と一緒になんですすぐ分かりました。お客さんの中でただ一人気付いた方がいて、早速「プライベートの時にすみませんね。」と小さな声で持っていた本にサインを求めておりました。知人はだいぶ遅れてしまったので、別の店に。おいしいラーメンを食べ駅前校に戻ると、「今日のランチはラーメンですね。並んでたでしょ、おいしかった？衆より」とのメール。ギョッ！店の前で並んでたのを今年も豪州合宿に参加する衆くんに見られてしまった・・・

” 久松孝彦先生の個展案内に教え子の絵が！ ” 2004. 2. 20 (fri)

(「小さな人間たちの詩」に掲載させて頂きました。)

” 中学受験、高校受験、そして大学受験に朗報続く ” 2004. 2. 19 (thu)

受験シーズンもたけなわ。1 月下旬から合格の朗報が相次いできました。途中 3 年間のブランクはあるものの、この 25 年もの間毎年経験することなんですが、いつになってもこの時期は緊張するんですね。でも、こうした喜びの声が聞けるだけに、この仕事はやめられないんです。そのひとつひとつの合格には、それぞれにドラマがある。

「せんせ〜い！やったー！」、今は携帯電話があるんで、昼 12 時の合格発表直後に電話がかかってくる。勿論、合格の嬉しさにすっかり忘れ去られ、夜 10 時過ぎにすまなそうに、「先生、遅くなってごめんなさい。合格したよ！」と連絡する生徒もあります。なかなか連絡のない生徒はまさか・・・・。こっちも心配なんで他の生徒にそっと確かめとく。電話が来たときにはその生徒の声と分かれると、こっちから「おめでとうお！」と機先を制す。「あ、ありがとうございます！」嬉しいですねえ、遅くなっても必ず次の授業の時までには連絡をくれるんです。

今年は私の二人の娘も受験。受験も合格発表もまだこれから。親ですから、やはり気をも

みます。大学受験は昨日から早稲田、慶応が始まり、続いていよいよ国公立大学の受験が始まります。本ホームページの東進衛星予備校藤枝駅前校のページに掲載しましたが、当校の今年の高校3年生はホントよく頑張ってます。今年のセンター試験・英語の当校生徒の平均が、なんと158、79%でした。例年に比べてセンター試験の英語の平均点は高かったものの、平均で79%は見事です。最高は190点。これからの大学受験発表も楽しみです。みんな頑張れ！

合格した皆さん、改めておめでとう！

### ”「藤枝市制50周年事業 2004 豪州・ペンリス市 春ゆめの大自然交流合宿」事業、本格的に開始” 2004. 2. 18 (wed)

ちょっと長いタイトルになっちゃいました。今回「藤枝市制50周年事業」なる冠が付きました豪州合宿事業も、先月11日の実施説明会に続き、先日15日には第1回参加者交流会が行われ、いよいよ本格的に開始致しました。今回の事業は昨年に引き続き、2回目。参加する13名のリーダー達の内、5名が昨年の経験者であり、他のリーダー達も昨年の夏合宿、冬合宿と、子ども達とのこうした活動にも慣れてきておりますことから、第1回参加者交流会はとても和やかな雰囲気の中で行われ、参加した子ども達も随分楽しかったようで、大成功でした。

こうした異年齢の集団での活動がすっかりなくなってきております昨今、頭であれこれ考え躊躇し、仲間との関わりを避けてしまっているように思います。大人達もそうです。どうも頭でっかちになっているんじゃないかな、脳の容積が大きく、思考できる動物であるばっかりに。まずは行動すること。理屈抜きで楽しむことだと思います。仲間達と関わることで、ホント楽しいんですよ。交流会の後、自宅でリーダー達と持込で飲んでおりましたら、近所の方々もアルコール片手で来て下さり、女房や娘達の白い目をよそに、また楽しい宵を過ごしちゃいました。ああ、生徒募集も本格的にしなくては……。

### ”親子が向かい合うとは” 2004. 2. 17 (tue)

先日今年の夏合宿の下見で長野に行ってきました。途中、この私にカヌーの楽しみを教えてくれた静岡カヌークラブ会長・鈴木さんの霊前にお別れのご挨拶をさせて頂き、引佐越えで152号線を登り、約190キロを4時間で走破。いつもながら時折電話が入り、路肩に止めては暫し休憩。ナビゲーター役の助手なしの一人旅。豪州合宿のこと、新学期募集のこと、今対応している生徒のこと、いろんなことを考えてながら、黙々と運転しておりました。目的地に着くと、早速事前に送られたパンフレットや資料を基に、道順や施設、その周辺をじっくり下見、カメラに収めてきました。楽しくも壮大な(?)企画を掻き立てる見事な施設。しかしながら、高低差の激しい天竜川の河岸段丘に点在する家並みと山間地というロケーションに人集めの難しさを感じ取り……。でも、絶対に成功させなければ。そのためにはと、ホテルのお風呂に入った後、パソコンを睨みながら考えておりましたら、「それは、て

めえの甘ったれじゃねえのか！」とすごい罵声がテレビから飛び出てきてびっくり。見ると、名古屋の長田寮寮長・長田さんを紹介する番組。「親が変われば子が変わる」なるタイトルで、引きこもり・不登校の解消を手がける、元ヤンキー・長田女史の対応が放映されておりました。仕事柄殆どテレビを見れないこの私。しかも、夜8時半頃から布団の上に横たわるなんてこの1年元旦ぐらいしかなかったんで、ちょっと見入ってしまいました。「親子が真正面に向い合う」ことの必要性は賛同できますが、やり方はかなり荒っぽい。どんなものなんでしょう？以前この日誌にも書きましたが、森下神経内科診療所所長・生野学園理事長、森下一先生の書かれた本の中の話思い出しました。社会的な地位も名誉もある父親が、見栄も外聞を投げ捨てて、命がけで娘さんの命を守り続けた話です。「親が変われば」と言うよりは、もっともっと親子で真正面に向い合うことが必要のように思います。それはトコトン話し合うことであったり、体を張って向い合うことでも。勿論、その意味でケースバイケースです。

” 遂に日誌更新を催促されちゃいました・・・ ” 2004.2.16(mon)

てなわけで、今夜ひっさし振りに日誌を更新しま〜す！A子様、S君、・・・？様方、今しばらくお待ちを。

” 明日は、TO THE FUTURE 2nd Stage ” 2004.1.22(thu)

おはようございます。ホント” 自然体 ” の日誌ですね。と言いますか、” つれづれなるまま ” (この頃のこの日誌のタイトルが「つれづれなるままに」だったんです) というより” 勝手気まま ” な日誌になってしまいました。お久しぶりです。

昨日静岡新聞朝刊に、ちょっとばかり大きめの記事となって紹介されました「TO THE FUTURE 2nd Stage」が、いよいよ明日ファイブスター藤枝店で開催されます。新聞記事通り、” 一つの自己表現の場に ”、そして” 家族で見てもらおう ”、これが TSUYOSHI 君と一致したこの企画の趣旨なんですね。大それた言い方をすれば、その昔藤枝ブルックスにサッカー文化の再興を賭けたように、素晴らしい経歴を持つ TSUYOSHI 君が来たこの藤枝に、一つの新しい文化を起こしたい、そんな思いがあるんです。勿論、この私はこれまで50年近くもダンスとは全く無縁でありましたし、ずっ〜と昔フォークダンスは大の苦手でありました。そんな私が今年の春、ストリートダンスを日本に持ちこんだ佐久間さんを取り上げたゾーンという番組のビデオを見させて頂いてびっくりしたんですね。そして、その衝撃がこの企画に繋がったんです。うん？その衝撃って？まずは「TO THE FUTURE 2nd Stage」にお越し下さい。きっと共感できるはずです。(なんか宣伝になっちゃいました。ごめんなさい。)

” 明けましておめでとうございます。 ” 2004.1.1(thu)

新年明けましておめでとうございます。

新年を迎え、早速この本部教室にある「2003 教科書によくできることわざカレンダー」（旺文社版）をめくりました。「1年の計は元旦にあり—ものごとははじめが大切で、まずは計画をきちんと立ててから、とりかかりなさい、ということ。--こんな書き出しで始まった昨年の日誌。振り返ってみれば、この日誌に現れております通り、計画的とは程遠いお話。誠にお恥ずかしい限りでした。忙しさに追いまくられた一年でした。今年は・・・、う～ん、開き直るわけではありませんが、今年を自分を見失わずに自然体でいこうと思います。本年も宜しくお願い致します。